

鷺塚

梅

上

志

成

初編

一編

特 別

~13

4313

1

75

70

65

60

八
4313
1



庚戌春

黃鳥填梅赤本

初編上下

松亭金水作

一陽齋豐國画

文溪堂上梓

一陽齋國政画

嘉永三年庚戌
新鑄初輯二册

上



鷲馬塚梅鉢

初編上册

松亭金水作
一巻ノ齋園改画

庚戌孟原

河原五郎



如是我聞輪迴應報の理ハ佛家の所謂眼目也善を勧め悪を懲
まもる此四字より過去の因を以て現世の果を知り未来の因
も現世の果で知る嗚呼その教名の往捷なる童蒙推女も曉り
易し。さふ於て古来今往佛道不廢りも大千世界何れの地也
佛法は在るとまゝに果敢る繪草紙を編るもこれ類する
その因を推し果を説てその顛末を結ばねば觀る人あはれ
承知せむ。此冊子の鶯も原是因と果とを以て一始終の局
結ぶ者官宜く味ひぬ。作者の僥倖甚し。

干時庚戌孟原

松亭金水



積翠道人

梅の影
白ひの影

野路
梅の影
源太左
佐々木
源之助
篤行

忠漢



長柄長者
濱野
源三郎

遊女九重
於八重

泥鰌子



Handwritten Japanese text in vertical columns, located above the illustration on the left page.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located to the left of the illustration on the left page.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located below the illustration on the left page.



Handwritten Japanese text in vertical columns, located above the illustration on the right page.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located to the left of the illustration on the right page.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located below the illustration on the right page.





Handwritten Japanese text in vertical columns, surrounding the illustration. The text appears to be a narrative or commentary related to the scene depicted.



Handwritten Japanese text in vertical columns at the top of the left page, above the main illustration.



Small handwritten text at the bottom of the left page, below the main illustration.

Handwritten text in vertical columns, likely a narrative or commentary, located above and below the illustration on the right page.



Handwritten text in vertical columns, likely a narrative or commentary, located above and below the illustration on the left page.







外題 豊国画

松亭金水作



Handwritten text in vertical columns at the top of the left page, likely a preface or introductory notes.



改画

花のちの
本

下冊









上



下



Handwritten text in the upper left section of the left page, consisting of several columns of vertical Japanese characters.

Handwritten text in the lower left section of the left page, continuing the vertical columns of Japanese characters.



Handwritten text in the upper left section of the right page, consisting of several columns of vertical Japanese characters.



Handwritten text in the lower left section of the right page, consisting of several columns of vertical Japanese characters.

此は... 松亭金水作... 豊國一毒時齋國政画...



松亭金水作
 豊國一毒時齋國政画

門人 豊國一毒時齋國政画

東雨墨田川葉櫻

石川一口作
 一勇神國芳画

同忠后藏銘傳

一筆 莽 作
 一勇神國芳画

嵐山花復儼全

柳市多 稔負作
 一勇神 玉美画

梅櫻花江柳好

土著園 聖恒作
 一勇神 豊國画

嘉永五子春新板

天正... 嘉永五子春新板



翠嶺
三編
六冊

梅
赤
体



初陽毎朝来る。鶯の轉り。早春毎年嚙く繪草紙の新作
 その趣の相似たれども専ら新奇な音とまるい古来今往作者の
 胸中。多るあれども僕と兒老輩作者の時好は後れてやむを
 教訓め兒將勸懲の意は失りと途方もある理屈三昧を
 と名人の草の葉を描やうむむ曲り屈りて節痛むる梅の古
 木の夫らう。花さく春ふあいのホソクと鶯の讃詞もからを
 と。版元の主人が勧め。梅は因の鶯塚まろ二幕目な明の春御年
 玉やうに慰まぬ。あまふんあふんをうたむませう

嘉永二己酉仲夏稿成
 全 三庚戌初春

松平漁父誌



山^{やま}里^{さと} 清^{きよ}ね
 美^みの^と 山^{やま}の^り
 積^つ翠^{すい}道^{だう}人^{にん}
 源^{げん}五^ご右^う衛^ゑ之^の木^き
 佐^さ木^き

積翠道人

源^{げん}五^ご右^う衛^ゑ之^の木^き
 佐^さ木^き

源^{げん}五^ご右^う衛^ゑ之^の木^き
 佐^さ木^き



梅^{うめ}枝^えの
 秘^ひ藏^{ざう}の
 唐^{たう}琴^{きん}
 鶯^{うい}

長^{ちやう}者^{じゃ}の^の女^{によ}見^み
 相^あ送^{そう}

山^{やま}里^{さと}



嘉永五壬子初春新版

梅 紫
 周波画
 金水作
 四編五編
 一編

濡乾
 西達傘
 金水作
 一編

假名
 女名
 初編
 玉臺園画
 一編

之河
 鉄五
 郎板

此の初春新版は、嘉永五壬子に刊行せられたるものである。其の巻頭には、梅と紫の二種の花が描かれており、その下に「梅紫」とある。これは、この新版の主題を示している。また、この新版は、従来のものと異なり、四編と五編に分かれており、一編も含まれている。これは、この新版の特色である。

金水作國政画
 この国政画は、金水作の筆によるものである。その内容は、国家の政治や社会の状況を描いている。この国政画は、非常に重要な役割を果たしている。

此の国政画は、金水作の筆によるものである。その内容は、国家の政治や社会の状況を描いている。この国政画は、非常に重要な役割を果たしている。





鶯鳥うぐひす
 梅うめ
 赤塚あかづか
 二編上下

東林板元

文溪堂上梓

嘉永庚戌
孟陬新鐫

作者 松亭金水
 画工 一陽齋豊國



樂天堂坊
蘇氏
蘇書